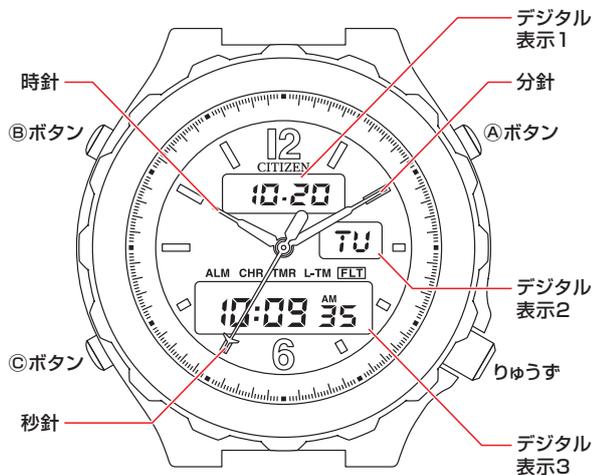
CITIZEN®

C162　簡易操作ガイド

・仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

各部の名称

・モデルによってデザインが異なります。

・スケールやベゼルについて、詳細は取扱説明書や、サイトの外装機能についてのページ(http://citizen.jp/cs/guide/gaiso/index.html)をご参照ください。

時刻とカレンダーを合わせる

アナログの時刻を合わせる

・アナログの時刻(時針/分針/24時間針)は、デジタル表示の時刻と連動していません。

1. 秒針が0秒を指しているときに、りゅうずを引く

秒針が止まります。

2. りゅうずを回して、時刻を合わせる

3. 時報に合わせて、りゅうずを押し込む

デジタル表示の時刻とカレンダーを合わせる

・デジタル表示の時刻は、アナログの時刻(時針/分針/24時間針)と連動していません。
・この時計は1992年〜2007年の間のみオートカレンダーです。この期間以外の日を合わせる場合、3月、5月、7月、10月、12月の各1日には、日表示の修正が必要です。
・時刻はローカルタイムモードの時刻と連動しています。ローカルタイムモードについては、「ローカルタイムを使う」をご覧ください。

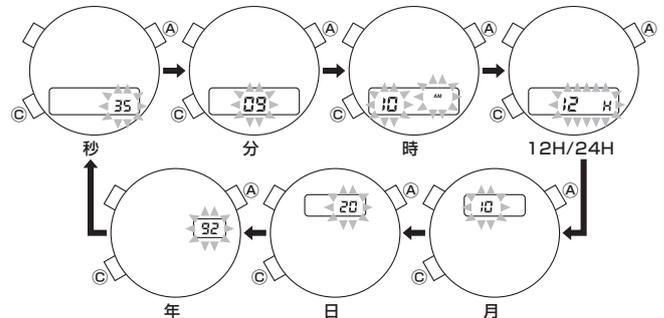
1. Ⓐボタンを2秒間以上押す

秒が点滅します。

2. Ⓒボタンを押して、合わせる

Ⓒボタンを押し続けると表示が連続して変わります。

3. Ⓐボタンを押して、合わせる対象を選ぶ

Ⓐボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。

4. Ⓒボタンを押して、合わせる

・Ⓒボタンを押し続けると表示が連続して変わります。
・Ⓑボタンを押すと、通常時刻表示に戻ります。
・2分間以上ボタン操作をしないと、通常時刻表示に戻ります。

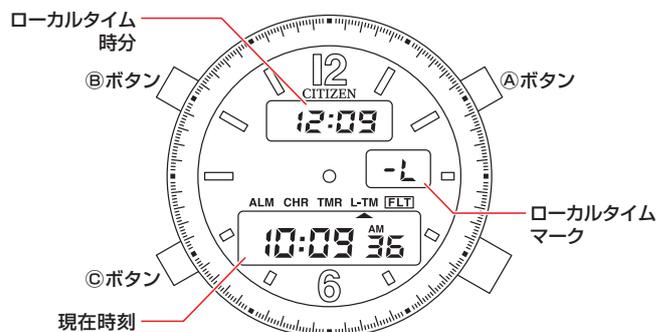
5. 手順4、5 をくり返し、他の対象を合わせる

6. Ⓐボタンを押して、終了する

ローカルタイムを使う

現在時刻の他に、他の地域の時刻(ローカルタイム)を表示することができます。
・ローカルタイムの時刻と通常表示の時刻は連動しています。

1. Ⓑボタンをくり返し押して、モードを「L-TM」にする

現在設定されているローカルタイム時刻が表示されます。

2. Ⓐボタンを2秒間以上押す

ローカルタイムの時が点滅して、修正できるようになります。

3. Ⓒボタンを押して、時を修正する

4. Ⓐボタンを押す

ローカルタイムの分が点滅して、修正できるようになります。

5. Ⓒボタンを押して、分を修正する

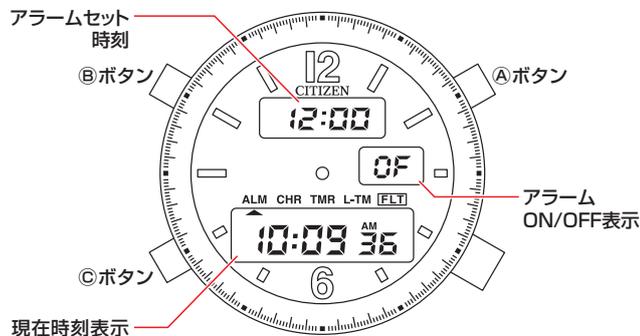
分の修正は30分単位です。

6. Ⓐボタンを押して、終了する

次へ続く

アラームを使う

アラームがOF表示でも、Ⓐボタンを約2秒以上押し続けると、自動的にアラームON表示に切り替わり、アラームを設定することができます。
- A（午前）/P（午後）、12H（12時間制）/24H（24時間制）を間違えずにセットしてください。
- 「ALM」の12H/24Hは、時刻、カレンダーの12H/24Hに連動します。

1. Ⓑボタンをくり返し押して、モードを「ALM」にする

2. Ⓐボタンを2秒間以上押す

アラームがONになり、アラームの時が点滅します。

3. Ⓒボタンを押して、時を設定する

4. Ⓐボタンを押す

アラームの分が点滅します。

5. Ⓒボタンを押して、分を設定する

6. Ⓐボタンを押して、終了する

アラームのONとOFFを切り替える

Ⓒボタンを押すごとに、ONとOFが切り替わります。

アラーム音をとめる

いずれかのボタンを押します。
- アラーム音は、20秒間鳴ります。

アラーム音を確認する

「ALM」でⒸボタンを押し続けると、アラームが確認できます。
- この操作を行うと、アラームのON/OFが切り替わりますのでご注意ください。

クロノグラフを使う

1/100秒単位、最大24時間まで計測できます。24時間を超えると、0時間0分0秒で停止します。
- 他のモードに切り替えても計測は継続されます。

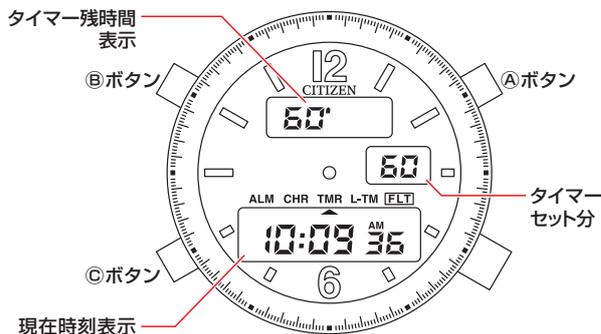
1. Ⓑボタンをくり返し押して、モードを「CHR」にする

スタート / ストップ：Ⓐボタンを押します。
リセット：ストップ中に、Ⓒボタンを押します。
- 計測中にⒸボタンを押すと、経過時間（スプリットタイム）が10秒間表示されます。

60分未満の表示：
デジタル表示1で分/秒、デジタル表示2で1/100秒を表示します。
60分以上の表示：
デジタル表示1で時/分、デジタル表示2で秒を表示します。

タイマーを使う

1分単位、最大60分のタイマーを設定することができます。
- 他のモードに切り替えてもタイマーは継続されます。

1. Ⓑボタンをくり返し押して、モードを「TMR」にする

2. Ⓒボタンを押して、タイマーの時間を設定する

Ⓒボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

3. Ⓐボタンを押す

スタート / ストップ：Ⓐボタンを押します。
リセット：ストップ中に、Ⓒボタンを押します。
- タイマー作動中にⒸボタンを押すと、設定した時間から改めてカウントダウンを始めます。

設定時間が過ぎると

タイムアップ音が、5秒間鳴ります。
音を止めるには、いずれかのボタンを押します。

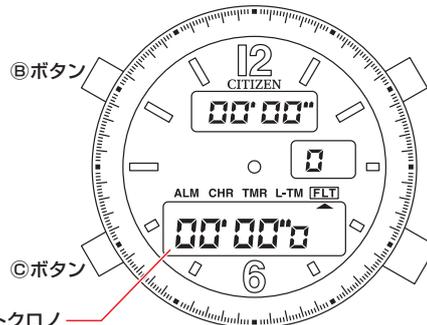
フライトモードを使う

フライトモードでは、フライトクロノ、着陸タイミングクロノ、フライト積算回数/フライト積算時間、フライト積算回数/フライト積算時間修正の4つの機能が使えます。

フライトクロノを使う

最大23時間59分59秒までの飛行時間の計測ができます。

1. 通常時刻表示時に、Ⓑボタンを2秒間以上押して、モードを「FLT」にする

確認音が鳴り、フライトモードに切り替わります。

スタート / ストップ：Ⓒボタンを押します。
リセット：Ⓒボタンを2秒間以上押します。
- 24時間経過すると、自動的に停止します。
- Ⓑボタンを2秒間以上押すと、通常時刻表示に戻ります。

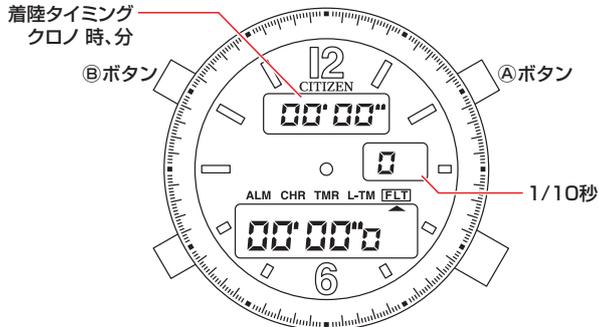
次へ続く

着陸タイミングクロノを使う

着陸タイミングを取るための待機周回飛行時間を計測したり、フライト中にフライト時間以外の時間を計測するときに使用します。
最大59分59秒9まで計測できます。

1. 通常時刻表示時に、Ⓑボタンを2秒間以上押して、モードを「FLT」にする

確認音が鳴り、フライトモードに切り替わります。

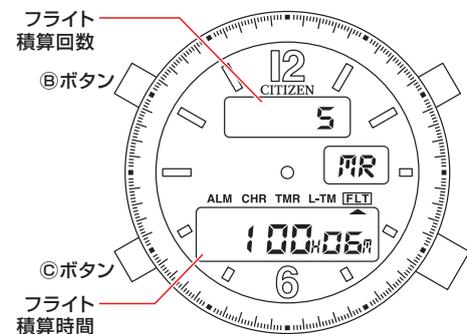
スタート / ストップ：Ⓐボタンを押します。
リセット：Ⓐボタンを2秒間以上押します。

フライト積算回数/フライト積算時間を使う

フライトクロノを使用した回数と、フライトクロノの計測時間の総計を、それぞれフライト積算回数、フライト積算時間として表示します。
フライト積算回数は最大9999回まで、フライト積算時間は最大9999時間59分まで計測します。
当月の総飛行回数と総飛行時間も表示できます。

1. 通常時刻表示時に、Ⓑボタンを2秒間以上押して、モードを「FLT」にする

確認音が鳴り、フライトモードに切り替わります。

2. Ⓑボタンを押す

フライト積算回数/フライト積算時間が表示されます。

3. Ⓒボタンを押す

ボタンを押している間、当月のフライト積算回数/フライト積算時間が表示されます。

フライト積算回数/フライト積算時間を修正する

電池交換等でデータが消えたときや、誤操作で計測を間違えたときに使用します。
・フライトクロノがリセット状態のときのみ、この修正を行えます。

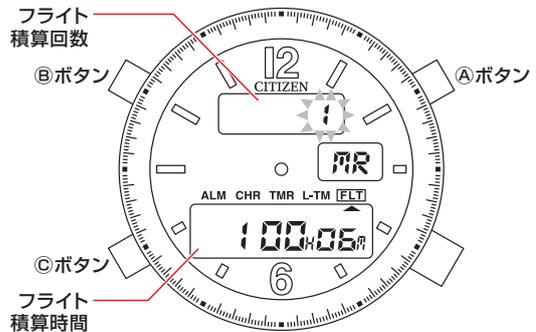
1. 通常時刻表示時に、Ⓑボタンを2秒間以上押して、モードを「FLT」にする

確認音が鳴り、フライトモードに切り替わります。
・フライトクロノがリセットされていることを確認します。

2. Ⓑボタンを押す

フライト積算回数/フライト積算時間が表示されます。

3. Ⓐボタンを2秒間以上押す

フライト積算回数の1の位桁が点滅します。

4. Ⓒボタンを押して、修正する

・Ⓒボタンを押し続けると、表示が連続して切り替わります。
・Ⓐボタンを押すと次の桁が点滅し、修正できるようになります。これを繰り返して、すべての桁を修正します。

5. Ⓐボタンを押す

フライト積算時間の分が点滅します。

6. Ⓒボタンを押して、分を修正する

Ⓒボタンを押し続けると、表示が連続して切り替わります。

7. Ⓐボタンを押す

フライト積算時間の時間の1の位桁が点滅し、修正できるようになります。

8. Ⓒボタンを押して、修正する

・Ⓒボタンを押し続けると、表示が連続して切り替わります。
・Ⓐボタンを押すと次の桁が点滅し、修正できるようになります。これを繰り返して、すべての桁を修正します。

9. Ⓐボタンを押して、終了する

フライト積算回数/フライト積算時間表示に戻ります。

オールリセットを行う

動作中のクロノグラフやタイマーはリセットされます。

1. りゅうずを引き出す

2. Ⓐ、Ⓑ、Ⓒボタンを同時に押す

ボタンを離すと、液晶表示がすべて点灯します。

3. りゅうずを押し込んで、終了する

・確認音が鳴ります。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、時刻合わせ、カレンダー合わせ、アラームの設定を行ってください。